

ワークショップアイデアシートの回答整理（事前ワーク） ※聞きたい内容が複数の項目にかかっていたものは、それぞれに同じ内容を掲載しています。

聞きたい内容	聞く対象	呼びかけ方法
魅力・課題		
○南大沢の良いところ。	○児童、生徒、保護者	○各学校の運営協議会に働きかける
○南大沢の楽しいところ、お気に入りの場所	○子ども（小・中・高）	○小中学生の場合：学校アンケートを通じて呼びかける ○高校生・卒業生：LINEを通じて呼びかける
○南大沢は、自分にとってどんな場所か。	○大学生	○大学のSNS、はちおうじ学園都市ビジョンより各大学へ発信
○南大沢に将来何があれば住みたいと思うか。思わない理由を特に聞きたい。	○大学生	
○南大沢で生活している中で、不都合と思われることは何か。（知りたいことや、不満に思うことなど）	○地域住民	
○子育てするにはやさしいまちだと思うか。 ⇒保育園・幼稚園の心配はないか。 ⇒地域の小中学校に対して不安な気持ちを教えてほしい。	○子育て世代	
○行きかう人に何ができるか。（元気にあいさつするなど）	○地域住民	○広報・HPで呼びかける
○遊歩道にあるベンチを使ったことがあるか。おしゃべりする（立ち話など）場所はどこか。	○シルバークラブ ○いきいきサロン参加者 ○遊歩道で立ち話する婦人たち	
○南大沢中学校区地域づくり推進会議の取組で作成した地域カルテを知ってるか。	○中学生、高校生、大学生	
○南大沢地区の小中一貫校教育について知っているか。	○幼稚園、保育園、小学生の保護者	
○地域をまとめる組織がない。また、南大沢のまちづくりに関わる東京都や京王、JKK、URなどと話し合う場が必要。	○東京都、多摩NT開発センター、京王、JKK、UR	○市から関係団体に呼びかけをする
将来ビジョン		
○南大沢に何があれば住みたいと思うか。 ⇒就職先、子育て、テーマパーク、サービスなど	○地域の大学生	○東京都立大学、多摩美術大学、ヤマザキ動物看護大学の学生支援課への交渉、SNSで呼びかけ ○大学のSNS、はちおうじ学園都市ビジョンより各大学へ発信
○現役をリタイアされた高齢者にとって住みやすいまちになっているか。困っていることを教えてほしい。	○高齢者	
○あなたは何ができるか。何が得意か。	○地域のリタイア後の人 ○シルバークラブ ○自治会、町内会、管理組合等	
○南大沢をデジタル文化都市としてどうしたら目指せるか。	○行政 ○企業	○東京都・八王子市とでプロジェクトチームをつくり、大手企業の経営企画部へのアプローチをかける
○なぜ将来ビジョンで2040年を目指すのかなど、経緯を含めた説明が必要	○市	
アクションプラン		
○南大沢地域自主防災協議会では、南大沢地域防災便りや、南大沢防災まち点検マップを作成して活用しているが、地域の皆さんに知ってもらうためにはどうしたら良いか。	○地域住民 ○居住を希望する人	○市の広報で呼びかける ○各種会議、団体に呼びかける
○孤立している子育て世帯や高齢者こそがつながる仕掛けづくりを行うために、一番近い存在である保健福祉センターに効果的な広報のアイデアを伺いたい。	○保健福祉センター	○保健福祉センターに直接、交渉する
○地域活動への参加、協力への意向 ○すでに取り組んでいる場合は、情報提供してほしい。	○店舗、企業	○南大沢3丁目商店街 ○中学校区内の店舗・企業へ文章・メールでコンタクトをとり、直接説明する ○第1歩として、アンケートでも良い
○交流イベントがあったら、運営側として参加したいか。参加するとしたら、企画から関わって参加したいか。	○各団体 ⇒防災、自治会、文化倶楽部、スポーツクラブ等	○地域カルテの掲載団体に連絡を取る
○地域情報は、どのような媒体から得ているか知りたい。 ⇒WS申込時に情報を得た媒体と年代の情報を収集	○全世代 ○特に高齢者	○地域カルテの掲載団体に連絡を取る
○南大沢にあったら嬉しいモノ・コト（居場所、施設、イベントなど）は何か。	○小・中学生	○小中学校でチラシ配布する ○まちコミでPRしてもらう
○自分の得意なことを活かし、地域活動に参加するには何が重要だと思うか。障壁となることは何か。	○地域の大人 ○20歳代～30歳代の地域住民	○町会lineで広報をしてもらう ○由木マルシェで広報をしてもらう ○推進会議メンバーによる声かけ
○地域主催の地域住民のためのミニツアーについて、あなたならどんな企画を提案するか。	○小・中学生 ○地域の大人	○小中学校でチラシ配布する ○まちコミでPRしてもらう ○町会lineで広報をしてもらう ○由木マルシェで広報をしてもらう
【再掲】 ○遊歩道にあるベンチを使ったことがあるか。おしゃべりする（立ち話など）をする場所はどこか。	○シルバークラブ ○行き来サロン参加者 ○遊歩道で立ち話する婦人たち	
○地域全体をまとめる組織・仕組みはどのようなものがあれば良いか。どのように作り出していけば良いか。	○町会・自治会、各団体等の代表者	○市と地域づくり推進会議からの呼びかけ・依頼
○各種団体の活動の横つなぎをする仕組みは何が効果的か。	○各種イベント等の代表者	○市と地域づくり推進会議からの呼びかけ・依頼
○高齢者・子どもを含め、多世代がつながる機会をもてるイベントは、どのようなものが効果的か。	○各団体の代表者	○市と地域づくり推進会議からの呼びかけ・依頼
○南大沢の地域づくり推進会議の取組を通して生まれた活動やイベントについて知っているか。（清水入緑地、ぼまる場、南中探検ツアー など）	○中学生、高校生、大学生	
○東京都、多摩NT開発センター、元気な街南大沢協力の会やアウトレットなどにまちづくりに参加や協力をして頂けないか。 ⇒まつりやイベントをするのであれば地権者、開発者との共働が必要不可欠（ニュータウン特有の問題）	○東京都 ○市議 ○多摩NT開発センター ○元気な街南大沢協力の会 ○京王 他	

ワークシート ワークショップを考えよう

○日時・場所：7月30日（日）午前中 南大市民センター 体育室 実質2時間（10時～12時）

ねらい

- 推進計画の作成活動 = 推進会議の活動のアピール。仲間づくりのきっかけづくり。
- 中間とりまとめをもとに、まちの魅力・課題、将来ビジョン、取組候補についてひと通り意見をもらう。

ワークショップの進め方

プログラム（案）	概要（案）	役割分担
①開会・あいさつ 説明：5分	○開会宣言 ○開催にあたっての注意事項など ○あいさつ	○司会（全体進行）： ○あいさつ：市から
②地域まちづくり推進の趣旨 説明：15分	○会の導入としての説明 ・2040ビジョンの説明 ・地域まちづくり推進の趣旨 ・推進計画の策定の趣旨 など ⇒プロジェクター＋スクリーン	○市
③推進計画の検討活動報告 説明：15分	○検討経過（令和3年度からの活動） ○中間とりまとめ内容の説明 ⇒プロジェクター＋スクリーン ※質疑応答を含めて、ワークショップで対応するようにします。	○説明者：
④ワークショップ ④-1 取組み方の説明 時間3分 ----- ④-2 話し合い 最大6テーブル（40名程度） 時間：50分 ※テーブル内での自己紹介含む ----- ④-3 シェア 時間：20分 1テーブル当たり3分程度	○全体で、話し合いの進め方を説明 ⇒プロジェクター＋スクリーン ※詳細は、各テーブルで適宜補足 ＜テーブルを囲んだ話し合い＞ ○中間とりまとめを参照しながら、大きく次のテーマに区切って話し合い。 ・地域の魅力・課題 ・どんなまちになると良いか（ビジョン） ・そのための取組はどのようなものか（アクションプラン） ※中間まとめ（テーブル図）、付箋への意見の書き込み ※アクションプランは、テーブルごとにテーマを分けて話し合うことも考えられます。 ○各テーブルの話し合いの内容を紹介	○説明者：全体進行か、③の説明者 ----- ○ファシリテーター（各テーブル）： ○板書係： ----- ○発表：各テーブルファシリテーター ※全体進行は司会
⑤情報交換 各自紹介：計10分	○参加者からの情報提供（簡単な所属組織の紹介も考えられます）	○進行：司会
⑥閉会・あいさつ 説明：5分	○あいさつ（今後の簡単なスケジュールを含む） ○閉会宣言	○あいさつ：市から
その他 ○配布資料 ○参加者アンケート	○②、③の説明で使用する資料 ○話しきれなかったことを、答えてもらう	○事務局で準備、配布、回収

声かけ

対象（候補）	方法	役割分担
○小、中、高校生	○各学校の運営協議会に働きかける ○小中学生の場合：学校アンケート、チラシの配布を通じて呼びかける ○高校生・卒業生：LINEを通じて呼びかける	
○大学生	○大学のSNSの活用 ○各大学の学生課に説明・依頼し発信	
○地域の住民の方 全世代、高齢者、団体	○市の広報誌の活用 ○地域カルテ掲載団体にアプローチ ○町会Lineによる呼びかけ ○推進会議メンバーによる呼びかけ	
○商店街、企業	○メールでアポイントをとり、直接交渉	